

茨城大学地域安心ネット

ボランティア

[代表者] 工学部メディア通信工学科 1 年 伊藤 雄太

[連携先]

茨城大学水戸地区周辺に在住する学生・周辺住民・商店の方、茨城県警・市役所等

[参加者]

伊藤 雄太 (工学部・1 年)

鈴木 清孝 (教育学部・3 年)

久保田 隆光 (教育学部・3 年)

杉本 浩一 (工学部・1 年)

仁平 夏未 (工学部・1 年)

[プロジェクトの成果]

本プロジェクトは、本学学生及び周辺住民の方へ、地域の安全や危険に関する情報を提供するものである。そこで、本プロジェクトでは、文字による本学内外の安全や危険に関する情報、犯罪状況を視覚的に読み取ることのできる地図を作成し、地域の事情に詳しい専門家を招いた講演会を行った。そして、これらの情報を Web ページと紙メディアを媒体として発信した。これらの情報により、本学周辺における危険を認識し、どのようにすれば安全に生活できるかについて理解をしていただく助けになることができたと思う。これによって、この地域において安心して生活することができるものと考えている。

今回のプロジェクトでは、まず、茨城県警水戸警察署の生活安全課の方に情報収集の方針や地図づくりの方法を教えていただいた。その後、末広町交番の方より、情報をいただくことができた。ただ、警察の情報は、自分たちが考えているように簡単に扱えるものではないことが分かった。なぜなら、犯人しか知りえない情報が多くの人に知られていた場合、犯人と確認できなくなってしまうからである。そこで、罪種を絞りつつ、

できる限りの詳細なデータを地図にした。このほか、本学学生生活課や掲示板に掲載されているものからも、情報として反映している。また、特に警察より情報を受けた場合は、トップページで強調して表示させている。

茨城県警水戸警察署生活安全課の方には、講師として講演をしていただいた。県内における水戸市の犯罪の状況、また、大学という場所の周辺で起こる犯罪。犯罪が起きないことが良いことではあるが、実際には犯罪が起きている以上、どのように生活したらよいかを聴くことができたのは、有益であったと思う。また、同時に護身術も教えていただいた。

これらの情報を、本プロジェクトでは Web ページと紙メディアで発信した。Web ページではパソコンと携帯電話どちらの環境にも最適化されたページを用意した。それぞれ表示は異なるが、内容はすべて同一のものである。